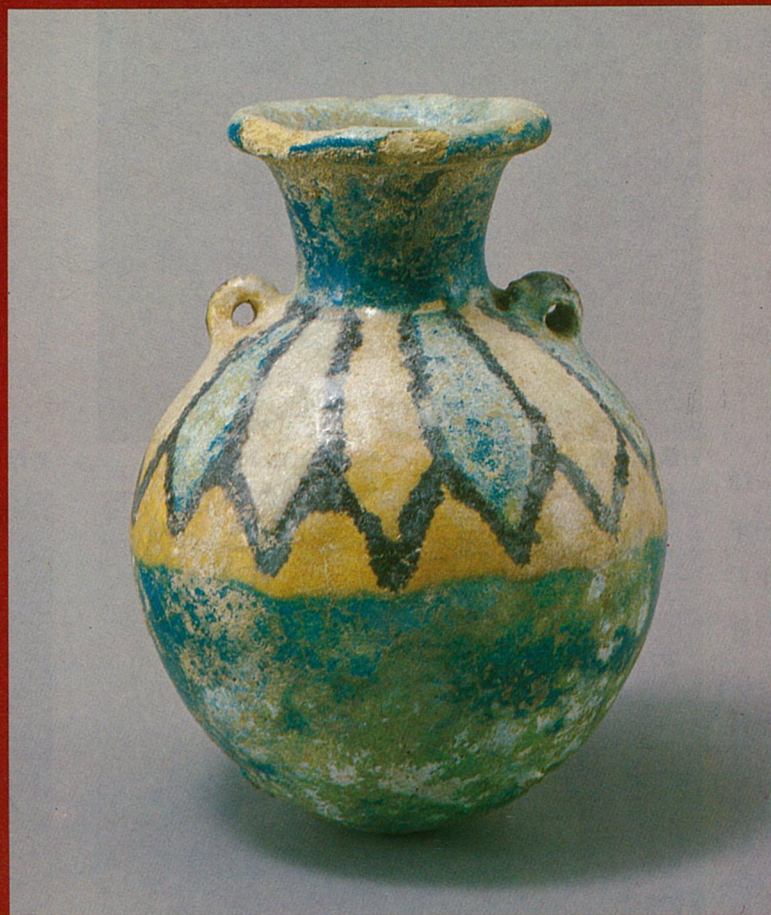


ペルシアの古陶器

エラム王国からササン朝まで



彩釉蓮華文裝飾小壺
(前9世紀)

入館時間

午前9時—午後4時30分
(月曜日休館)

入場料(当日券)

一般	600円
大・高生	400円
小・中生	200円

(前売り券・団体券あり)

主催 岡山市、岡山市教育委員会
後援 岡山県、岡山県教育委員会
山陽新聞、山陽放送
NHK岡山放送局
岡山鉄道管理局

岡山市立オリエント美術館

8/23-10/5

岡山市天神町9-31

電話0862(32)3636

日本各地に収蔵されている
優品120余点を集めて

ペルシア陶器の源流 を明らかにする

従来、ペルシアの陶器に関しては、
我国においても幾度かの展覧が催され、
東西交渉の中心的位置を占めるイラン
から出土した多数の優品を鑑賞する機
会がありましたが、これらはいずれも
イスラム陶器であって、イスラム陶器
の源流としての古代ペルシアの施釉陶
に関しては、系統的な紹介はなされて
こなかったのではないかと思います。

釉（うわぐすり）というのは、一種
のガラスの膜であって、紀元前4000年
紀に、メソポタミアやエジプトで作ら
れるようになったのです。イランで最
初に施釉製品が作られるようになった
のは、エラム中王国時代（前1200年頃）
で、前1000年紀初頭には数多くの初期
施釉陶が作られています。パルティア
・ササン朝時代に入ると、青や緑の釉
をかけた陶器が盛んに製作されるよう
になり、このモノクローム陶器の伝統
はセルジューク朝にまで継承されてゆ
くのです。

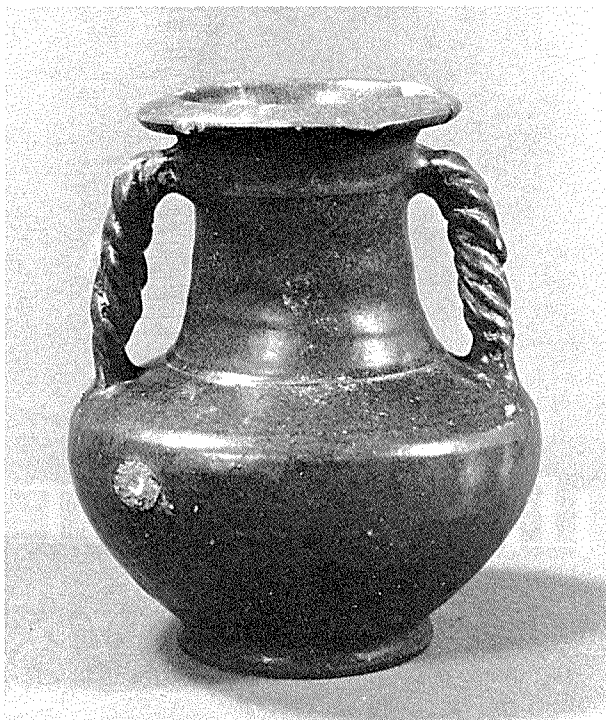
今回の展示は、いわばペルシア陶器
前史を系統づけた、我国では初めての
企画と言えます。



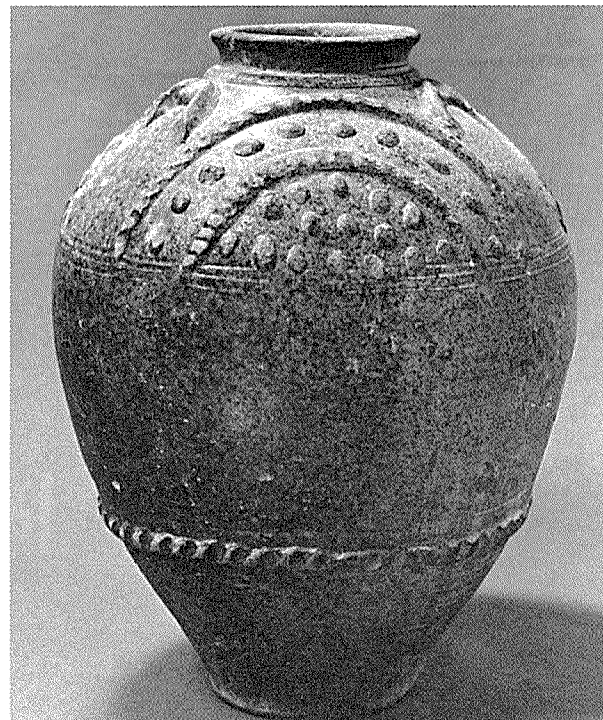
釘頭状土製品 チョガ・ザンビル出土 前1200年



彩釉人物文装飾壺 ジヴィエ近郊出土 前9世紀



青釉双耳壺 イラン高原 1-3世紀



緑釉張付文装飾壺 イラン高原 8-9世紀

主な出品作品

- | | |
|---------------|--------|
| 青釉牛頭浮彫装飾ゴブレット | |
| チョガ・ザンビル | 前8世紀 |
| 有角牡牛像装飾 | |
| スーサ | 前8世紀 |
| 牡牛文装飾壺 | |
| ハッサンル近郊 | 前9世紀 |
| 緑釉水平段文装飾壺 | |
| スーサ | アケメネス朝 |
| 青釉把手付水差 | |
| ネハヴァンド | 1-3世紀 |
| 緑釉六曲把手付杯 | |
| イラン高原 | 7-8世紀 |

当館所蔵の イスラム陶器も 併せて展観

ペルシア陶器はイスラム時代に
入るといよいよその華麗さを増し
てゆく。三彩やラスター陶、ラジ
ュバルディナ手など、未公開作品
も含めて、当館所蔵のイスラム陶
器の優品を、この機会に一堂に展
観します。

お問い合わせは

岡山市立オリエント美術館

岡山市天神町9-31

TEL 0862-32-3636